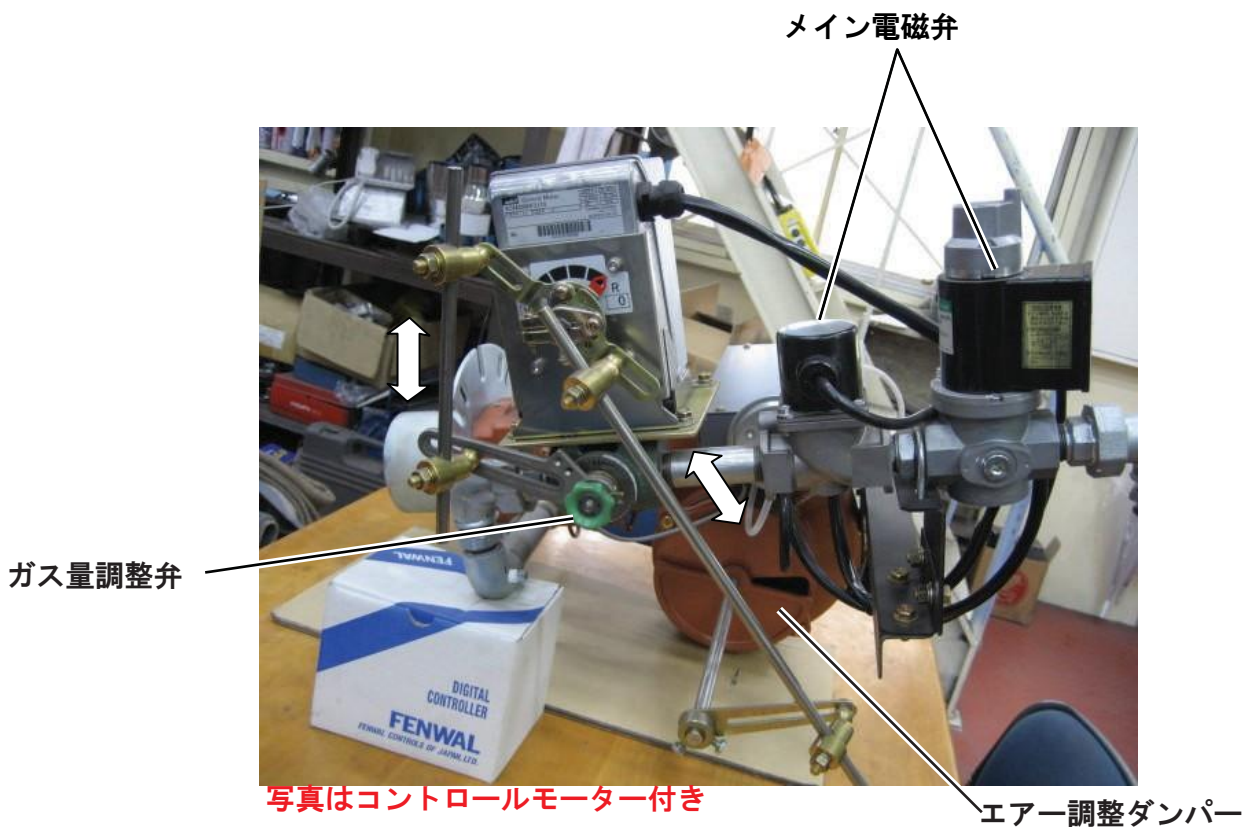
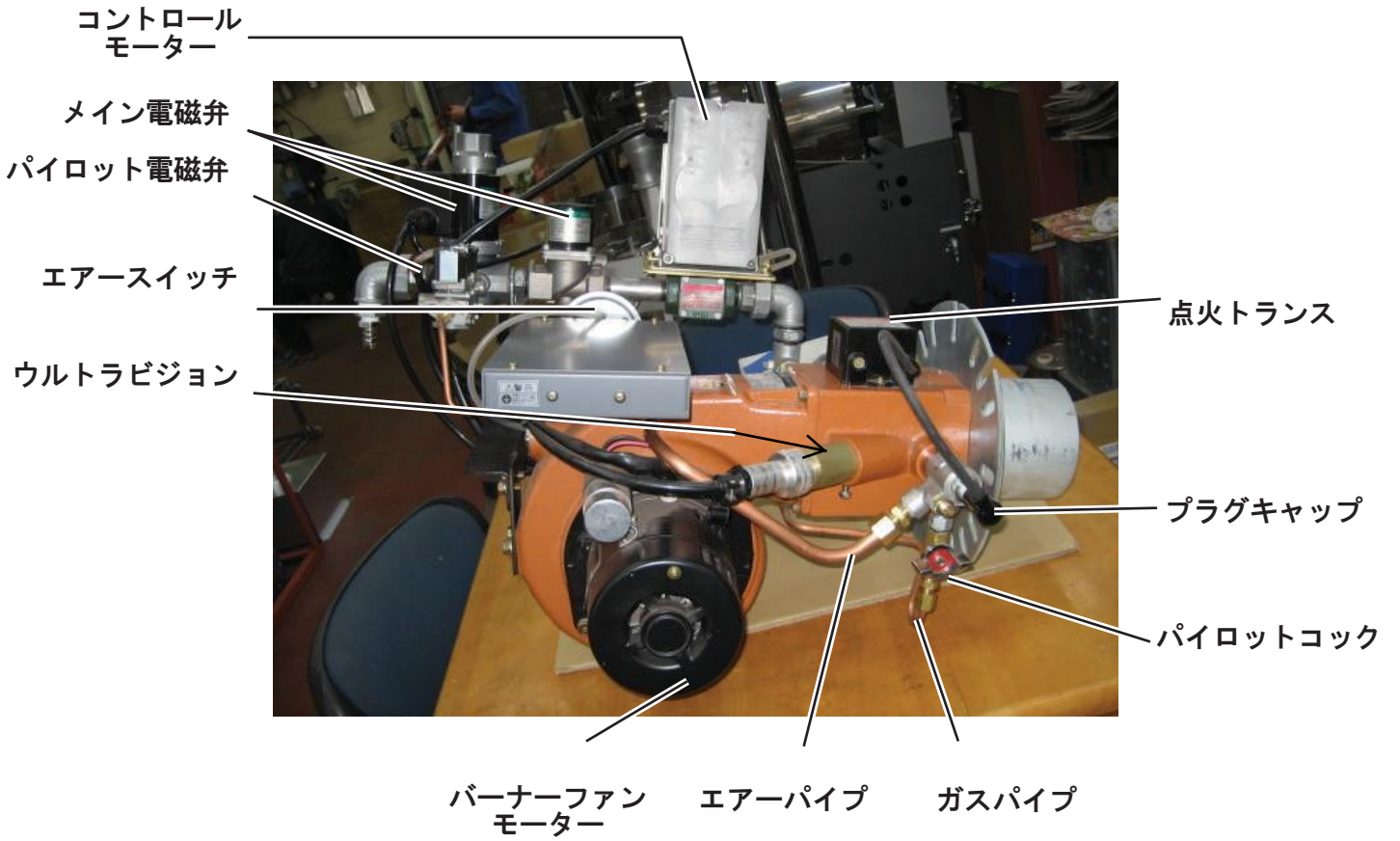


# バーナー各部の名称



コントロールモーターは設定温度になるようにバーナーの火力を調整する働きをしています。

# ガンバーナーが失火する時

## プロテクトリレー（操作盤中に入っています）

※年式によって仕様が異なります。

※製品により電圧の容量（100V/200V）が異なります。

新型：コロナ製



リセットスイッチ

旧型：ヤマタケ製



運転ランプ（赤色）

※コロナ製の場合、製品の電源を落とすと、リセットが機能しないため、電源は落とさずに作業してください。

操作盤の失火ランプが点灯し（操作盤によってはブザーが鳴る）バーナーが失火、もしくは点火できない時に運転ランプが点滅する状態の時の対処法

バーナーの停止後、20秒から30秒（コロナ製の場合は5秒程度）待ってからリセットスイッチを押してください。その後バーナーの運転スイッチをONにして点火できるか確認して下さい。

それでも点火出来ない時は次の手順で点検して下さい。

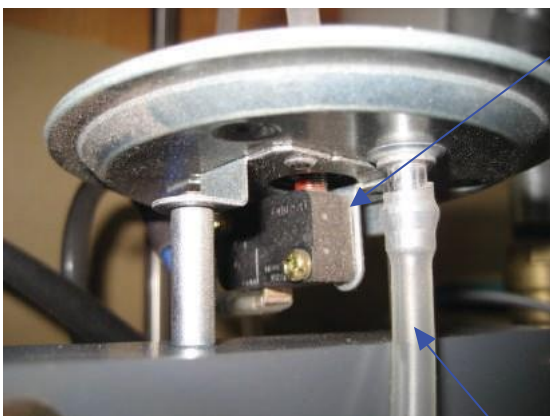
バーナーファンが回転していないか



点火プラグキャップが抜けてないか？

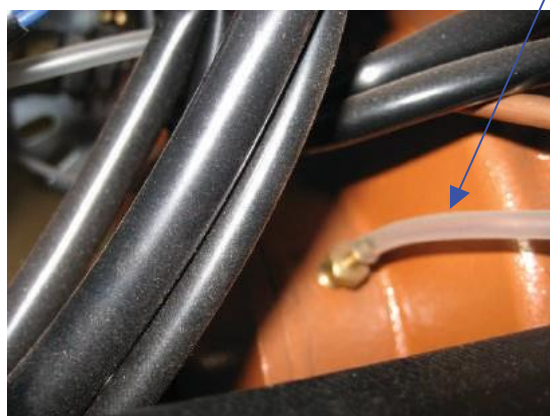


コックが閉じてないか？



### エアースイッチ

ファンモーターが回転してエアを吸い込んでいることを確認するスイッチ



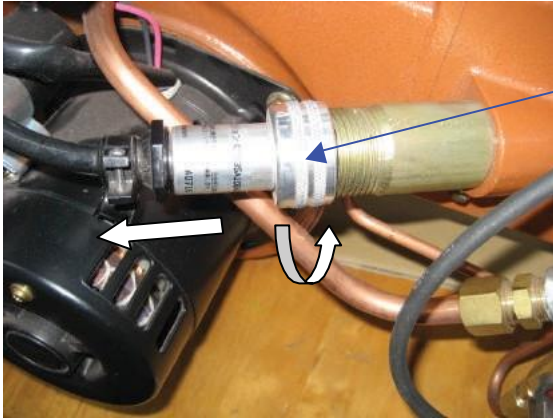
### エアータブ

ファンケースからエアをエアースイッチに送ります。

エアータブにゴミや水滴などが入っているとエアースイッチが作動できません。チューブを引き抜いて異物を吹き飛ばして下さい。

コンプレッサーのエアガンなどで吹き飛ばすと良く取れます。

## 点検掃除 ウルトラビジョン



ナットを緩めてください。

矢印の方向に引き抜きます。



カバーも引き抜きます。

レンズが汚れています。  
バーナーの炎が感知できずに失火します。

レンズの埃を拭き取ってください。



ウルトラビジョンを取り付け、プロテクトリレーのリセットスイッチを押してバーナーの運転スイッチを ON にして、点火できるか確認してください。

ウルトラビジョンは赤外線で火が点いているか監視していますので、埃が付着してレンズが汚れると失火します。

ほとんどの場合この作業で点火できますが、点火出来ない時は、次の点検掃除を行ってください。

## エアパイプ



ナットを緩めて外します。



### パイロット

エアチューブ同様にゴミなどが付着しているとパイロット（種火）に送るエアが不足し、種火の燃焼が安定せず、途中で立ち消えしたり、全く点火できなくなります。

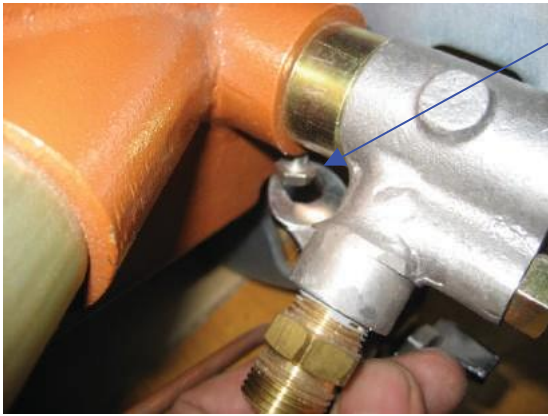
エアガンなどで吹き飛ばしてください。



ガスパイプ（パイロット用）のナットを緩めて外します。

写真のパイロットのコックは閉じています。





ボルトを緩める（ホーローネジの物もある）



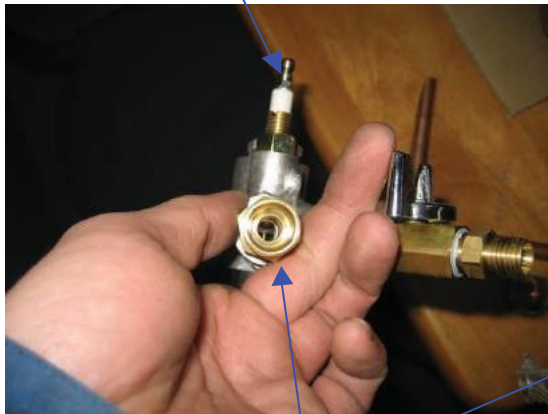
スペーサー  
失くさないように注意



⇨ 矢印の方向に引き抜きます。

ナット、イモネジを回さないで下さい。  
エアとガスの混同を調整している部分  
です。微妙な調整が必要。

点火プラグ



ノズル  
パイプの中の小さい穴（ガス噴射用）



エアで吹き飛ばして下さい。



中心に点火プラグの先があり  
周囲にスパークしてパイロット  
に点火します。

以上で点検掃除は終了です。  
復元し、リセットボタンを  
押して、バーナーが点火  
できるかを確認して下さい。